

# 青 い 鳥

〔7月号〕

## 子どもの心に寄りそった言葉かけ

子ども同士の「けんか」の原因には「自分の我」を通そうとして、思い通りにならないために物の取り合い等が原因で起こることが多くあります。そのような時に大人の感覚でけんか・もめ事の仲裁をすることは、かえって子どもたちの関係を悪くします。何故ならそのけんか・もめ事に至った理由はその子どもしか分からないからなのです。

子どもが自己主張をすることは大切なことです。子ども同士で話し合いをすることで「あと何回で貸してあげるね。」と、けんか・もめ事を解決させることでコミュニケーション力が育ちます。これは幼稚園での子どもたち同士のお約束です。

砂場などでのおもちゃの取り合いは「社会性を育てる絶好のチャンス」ですから、その場の状況を大人は把握しながら見守ってあげることが大切です。

保育の中で「親子の愛情と信頼」が感じられる会話を耳にしました。誕生会の時「大きくなったら何になりたいの」という質問に対して、「お母さんになりたい」という言葉が返ってきたのです。何ともほのぼのとした親子のご家庭での様子がかがえました。

また、朝のお迎えの時に子どもがお母さんとさようならする時に「お母さん今日もお仕事がんばってね。」という子どもからの労いの言葉を聞きました。この親子は毎日この「さようなら」で親子の愛情と信頼を感じ取っていられるのだと思います。

このような会話からも親子の絆の深さと暖かい愛情を自然に感じる事ができるので、どうぞ子どもの心に寄りそった言葉かけを行っていただき、素直な心・優しい心溢れるお子さんに育ててほしいと願っております。

園長 榎山 恭子